

行雲流水

No.177 令和4年4月1日発行

新年度のごあいさつ

校長 寒河江 正人

山形県は、**たいへん雪の多い冬**でしたね。

それでも、各地から**桜の開花を知らせる便り**が届くようになりました。

きっとこれから、**本校の桜のつぼみもぐんぐん膨らみを増す**ことでしょう。

昨年度は、本校教職員の皆様より、本校の学校経営にご理解ご協力を賜りましたこと、この場をお借りしまして、心より厚く御礼申し上げます。

ご縁あって、2度目の本校勤務は2年目を迎えました。神町地区の子どもたちの教育に携わる幸せを与えていただきましたことに感謝するとともに、新たな本校教職員を異動でお迎えし、共に働く機会をいただいたことに喜びを感じているところです。

さて、今、港から「**神町中学校**」という船が出航するに当たり、一年の航海を任される立場として、皆様に申し上げておきたいことがございます。

もとより私は、浅学菲才の身でありますので、我が身の丈に合ったことしかできません。地域・保護者の皆様に初め、本校教職員の皆様のお力添えなしには、「**神町中学校**」という船は、たちまち難破してしまいます。

本日の命課を経て、一年間担当していただく各々の持ち場において、皆様一人ひとりがおもてるその職能を思う存分に磨き、そして、教育効果を発揮していただきたいのです。

すべては、子どもたちのため。これが、校長としての「**ささやかな願い**」であります。

奇をてらった派手さは不要です。地味でもいい。目立たなくてもいい。裏方に徹してもいい。その**誠実で地道な営み**の先にこそ、生徒の「**確かで豊かな学び**」と「**健やかな育ち**」が結実した姿があり、それこそが私たち教職員の「**仕事の結果**」だと信じております。

その覚悟で**学級**を創りましょう、**授業**を創りましょう、**学校**を共に創っていきましょう。それでは、一年間何卒よろしくお願いいたします。

ぼくろ
「**朴魯なるにしかず**」

(ごく普通のすばらしさをしっかり見抜き、大切にせよ)

こうじせい さいこんたん
洪自誠 「葉根譚」